

事故から5年目

東京電力は福島原発事故の責任をとれ！

3/10(木), 3/11(金)

追悼と東電抗議

柏崎刈羽原発再稼働するな！汚染水止めろ！



第30回 東電本店「連続」合同抗議



(PART 1) 日時: 2016年3月10日(木) 18:30~20:00

(PART 2) 日時: 2016年3月11日(金) 18:30~20:00

東電本店へ
行こう！

場所: 東京電力本店前(東京都千代田区内幸町)

JR・地下鉄新橋駅徒歩5分、地下鉄三田線内幸町駅徒歩3分

呼びかけ: 経産省前テントひろば(070-6473-1947)、たんぽぽ舎(03-3238-9035)

賛同: 東電株主代表訴訟、ピースボートなど123団体

東京電力本店



東京電力への意見は、以下へ。
お客さま相談室: 050-3066-3033

2011年3月11日の東京電力福島原発事故発生以来、丸5年が経過した。

しかし、原発事故被害者の補償・賠償は値切られ続け、放射能汚染水は漏れ続けている。事故収束の見通しは立たず、約7,000人の作業員が被ばくしながら現場を支え続けている。子どもの甲状腺ガンが150名を超えた。だが、その元凶である東京電力は、被害者の支援をなおざりにして、柏崎刈羽原発再稼働に動き出した。

国民の半数以上が原発再稼働に反対している中、川内原発、高浜原発が再稼働された。これは、東京電力が事故発生の責任企業でありながら、責任を取らなくても許されているからだ。電力消費地の私たちは、東京電力の責任を明確にし、その責任を取らせなければなりません。

また、今年4月からの電力小売り自由化を活用し、「原発電気はいらぬ、東電さようなら」の電力契約変更運動を大きく広げよう。

全国各地の電力会社への抗議行動に連帯して、東電への抗議行動を強めよう。私たちは、「福島」をどこまでも忘れないし、福島原発事故の惨状を許さない。諸悪の根源・東電の破たん処理=解体まで、福島と連帯して闘い続けましょう。

抗議内容(予定)

(1) 発言者

- 1) 福島から: 井戸川克隆(前双葉町長)、鴨下祐也(福島原発被害東京訴訟・原告団長)、佐藤和良(福島原発告訴団・副団長)、古川よし子(富岡町)

- 2) 鎌田慧(ルポライター)、澤地久枝(依頼中)、広瀬隆(作家:メッセージ)、山本太郎(予定)、参加者(あなた!)

(2) 音楽など: 日本音楽協議会、よろずピースバンド、和太鼓の演奏、他

新潟県泉田知事
発言より

東電福島原発事故の検証・総括がなされていない。
検証・総括がないまま策定した新規制基準では、原発の安全確保にならない。